

ICA 国際会話学院 日本語科 募集要項

1 はじめに・沿革

ICA国際会話学院は1955年に英会話学校として開校し、1963年には日本語科もスタートした長い歴史のある学校です。当校では多くの外国人学生に日本語の基礎学習から始め、大学や短期大学、専門学校などへ進学できるよう手助けしてきました。ICAでは、皆さんが日本で志望校に進学できるように、最適の学習環境を提供いたします。また、ICAは学校名に「会話」とあるように、クラスメートや教師、職員がみんなで楽しく日本語で会話できる場にはしています。椅子に座って勉強するだけでなく、旅行やパーティなどのレクリエーションを通じ、学生が、日本語学習とともに、日本の文化・習慣・風俗などになじむように努めています。皆さんには日本語修得だけでなく、たくさんの思い出を作りたいと思っています。

あなたもICAの仲間になりませんか。お待ちしております。

2 クラス・授業概要・時間割

ICA国際会話学院には、入学から卒業までの期間に応じて全部で4つのコースがあります。

コース	授業時間数	入学時期	卒業時期
2年コース	1,520 時間	4月	翌々年の3月
1年9ヶ月コース	1,330 時間	7月	
1年6ヶ月コース	1,140 時間	10月	
1年3ヶ月コース	950 時間	1月	翌年の3月

1クラスは15人程度です。授業は月曜日～金曜日に行い、午前と午後のクラスがあります。いずれも、45分のレッスンを4回行います。下の表は一日の時間割です。

	第1レッスン	第2レッスン	第3レッスン	第4レッスン
午前クラス	9:00 ~ 9:45	9:50 ~ 10:35	10:45 ~ 11:30	11:35 ~ 12:20
午後クラス	13:10 ~ 13:55	14:00 ~ 14:45	14:55 ~ 15:40	15:45 ~ 16:30

入学から卒業までのカリキュラムは次のとおりです。

(1) 初級：約6カ月

基本的な文法、約1,500語の語彙、約300字の漢字を習得。簡単な日常会話と読解の練習。日能試3級程度。

- (2) **中級**: 約6カ月
中レベルの文法と、約 6,000 語の単語、約 1,000 字の漢字を習得。一般的な会話、読解の練習。日能試 2 級程度。日本留学試験対策。
- (3) **上級**: 約6カ月～12ヶ月
高レベルの文法と、約 10,000 語の単語、約 2,000 字の漢字、社会生活や大学で使われる総合的な日本語を習得。日能試 1 級程度。日本留学試験対策。論文講読、作成練習。

※ 3か月ごとにテストがあり、クラス換えを行います。

3 進学実績

ICA 国際会話学院の卒業生が、これまでに進学した主な大学です。

【大学】 神奈川大学、京都精華大学、九州国際大学、駒澤大学、国際医療福祉大学、上智大学、西武文理大学、大東文化大学、東京外国語大学、東京学芸大学、東京商船大学、東京水産大学、お茶の水大学、東京電機大学、東京農業大学、学習院女子大学、東洋大学、法政大学、明治大学、茨城大学、高崎経済大学、城西大学、千葉大学、麗澤大学、横浜国立大学など。

【大学院】 東京大学、東京学芸大学、東京工業大学、東京農業大学、電気通信大学、武蔵工業大学、早稲田大学など。

4 学費について

選考料、学費等は次のとおりです。

コース	金額				支払期限
	2年コース	1年9ヶ月 コース	1年6ヶ月 コース	1年3ヶ月 コース	
1. 選考料	¥20,000				入学書類提出時
2. 入学時納入金	¥1,308,000	¥1,167,000	¥1,026,000	¥885,000	「在留資格認定証明書」交付時に一括
入学金	¥50,000				
授業料	¥1,128,000	¥987,000	¥846,000	¥705,000	
課外活動費	¥50,000				
教科書、副教材	¥60,000				

※ 選考料、授業料など納入金は日本円で当校銀行口座に振り込んでください。

※ 授業料、課外活動費、教科書等費は卒業までのものを含みます。

※ 課外活動費は、新年会などの行事費、日本語学力テスト受験料、学生保険などに使われます。

5 入学申請からビザ取得までの流れ

- 入学審査をするに必要な所定の書類を準備し、所定の期日までにICAへ提出してください。提出の際には、所定の選考料をお支払いください。
- ICAであなたの書類を厳正に審査します。
ICAから入学許可がおりた方: ICAが東京入国管理局(入管)に「在留資格認定証」の申請をし、入管によって審査が行われます。
ICAから入学許可がおりなかった方: お預かりした書類を返却します。ただし、入管に提出した書類及び選考料はお返ししません。
- 入管の審査が終わりましたら、ICAからその結果についてご連絡いたします。規定の入学金や授業料等の払い込みを確認の上、「在留資格認定証明書」と「入学許可証」等をお渡しいたします。また、不許可

の場合、その旨をICAからご連絡しますので、お預かりしている卒業証書などを取りに来てください。ただし、入管に提出した書類及び選考料はお返ししません。

- (4) 「在留資格認定証明書」、「入学許可証」を受け取ったら速やかに、自国の日本大使館や領事館で、ビザの申請をしてください。同時に、航空券や住居の手配等も忘れないようにしてください。

6 出願期間

コース	入学月	受付開始	締め切り
2年コース	4月	就学年の前年の9月から	就学年の前年の11月10日
1年9ヶ月コース	7月	就学年の2月から	就学年の3月10日
1年6ヶ月コース	10月	就学年の3月から	就学年の5月10日
1年3ヶ月コース	1月	就学年の前年の6月から	就学年の前年の9月10日

- ※ いずれも上記の期間に数回の締め切り期間、合格発表日を設けます。ただし、出願期間中でも定員になれば募集を締め切ることがありますので、お早めにお申し込みください。詳しくはICAの受付にお問い合わせください。

7 必要書類概要 (これらは経費支弁者が親族の場合の例です。自己資金、会社負担などの場合はご相談ください)。

ICA国際会話学院に入学するためには、次の書類が必要になります。ただし、申請者によって用意する書類が異なりますので、必ずICAにご相談ください。

入学願書、履歴書、経費支弁書などは、ICAのホームページからダウンロードすることができます。

ホームページ: <http://www.aikgroup.co.jp/ica>

ダウンロードのページ: http://www.aikgroup.co.jp/ica/nihongo/jp/contents/admission_v.htm#dl

(1) 申請者に関する書類

- 写真(3cm×4cm)10枚: 裏面に名前を記入。卒業証書や身分証と同じものは不可。申請日より6カ月以内に撮影したもの。
 - 身分証明書のコピー: パスポートのコピーなど。(日本への渡航歴がある場合、入国・出国印があるページのコピーも必要です(記載の住所は現住所と同一であること)。
 - 入学願書: ICA所定の書式を使用すること。別項「8 入学願書と履歴書を作成するときの注意点」参照。
 - 履歴書: ICA所定の書式を使用すること。別項「8 入学願書と履歴書を作成するときの注意点」参照。
 - 最終学校の卒業証書: 原本を持参。最終学校の成績証明書。
 - 日本語能力を証明する書類: 日本語能力試験4級以上の合格証。もしくは、学習時間150時間以上の記載のある証明書(日本語学校発行のもの、但し、高等教育機関「大学・大学院・自学考试・専科学校・短期職業大学・成人高等教育機関」を卒業した方は不要です)。専門教育出版主催の「日本語学力テスト」または「日語 NAT 考試」の成績証明でも可。
- ※ この他に勤務者は在職証明書等が必要です。

(2) 学費生活費の支弁に関する書類

- 経費支弁書: ICA所定の書式を使用してください。ICAのホームページからダウンロードすることができます。経費支弁者の直筆。なお、経費支弁者は三親等以内。原則として、いとこ、友人は不可。
- 預金残高証明書: 卒業時までに必要な額(1年間で150万円以上が目安)が日本円やアメリカドルなどで表示され、外国送金が可能である形で預金されていること。
- 本人と送金者が親族関係であることを証明する書類: 親族関係公証書記載の住所は身分証の住所と

- 同一であること。
- ・ 支弁者の身分証明書のコピー：記載の住所は現住所と同一であること。
 - ・ 下記のAもしくはBのいずれかをご用意ください。
 - A：経費支弁者が会社勤務・会社経営者の場合
 - ・ 支弁者の在職証明書：会社人事担当者が作成し、その印のあるもの
 - ・ 収入証明書：会社経理担当者が作成し、その印のあるもの
 - ※ 共に、会社が発行し、会社印が押されているもの
 - B：経費支弁者が自営業者の場合
 - ・ 登記簿謄本、営業許可書コピーなどの会社の存在を証明する書類
 - ・ 納税証明書など会社の収入を証明する書類
 - ※ 経費支弁者と本人が異なる国に居住している場合
 - ・ 送金者が当該地域にいることを証明するもの：パスポート、身分証明書、永住許可証など

(3) 紹介者念書

- ・ ICA所定の書式を使用してください。ICAのホームページからダウンロードすることができます。
- ・ 紹介者が外国人の場合は外人登録証のコピーを添付してください。

8 書類を作成するときの注意

(1) 入学願書と履歴書について

- ・ 必ず申請者本人が直筆で書いてください。
- ・ 「学歴」：小学校入学時から書いてください。在学期間は月日まで記入してください。現在も在学中の場合、「～現在に至る」と記入してください(学校の住所は省略しないで詳細に書くこと)。
- ・ 「職歴」：在職期間は月日まで記入してください。現在も在職中の場合、「～現在に至る」と記入してください(会社等の住所は省略しないで詳細に書くこと)。
- ・ 「修了後の希望」：進学希望の場合、必ずしも入学志願時点で具体的な学校名を書く必要はありませんが、少なくとも希望の学部、学科は記入してください。(例)法学部のある大学、観光関係の専門学校。
- ・ 「日本への渡航歴」：もし渡航歴があれば、必ずすべてについて記入してください。渡航歴がなければ「なし」と記入してください。
- ・ 「修学理由」：冒頭で自己紹介をする必要はありません。なぜ留学先として日本を選んだか、なぜ日本で日本語を学ぶ必要があるのか、ICAを卒業した後どうするかなどを、簡潔具体的明瞭に書いてください。なお学歴が12年未満の場合、ICAを卒業して直接大学や専門学校に進学できません。その場合、日本の文科省が指定する教育施設において、1年間規定の学習科目を補うことで、進学が可能になります。

(2) 経費支弁書について

- ・ 必ず経費支弁者が直筆で書いてください。

(3) その他

- ・ 楷書で、丁寧に書いてください。履歴に空白がないよう、アルバイトや受験準備期間なども漏れなく記入してください。
- ・ 誤字脱字の無いように書いてください。日付などに誤字があった場合、不利益になります。
- ・ 各書類に日本語翻訳(A4紙)をつけていただくと、審査が早く済みます。
- ・ 書類の公証は親族関係を証明する書類だけにしてください。
- ・ 過去に就学ビザの申請をしたことがある場合は、必ず当校に申告してください。

<注意> 次に該当する書類は受け取れませんのでご注意ください。

- ・ (中国) 存款証明書を公証書の中に綴じたもの。
- ・ 書類作成日が明記されていない書類。作成日が、入管申請日以前3か月を超えるもの(卒業証書等は除く)。
- ・ 公的機関(国、政府、学校、会社企業等)が発行した書類で、印が押されていないもの。
- ・ 黒色か濃青色のインクペン以外の筆記用具で記入されているもの(鉛筆不可)。
- ・ 著しく汚損しているもの。
- ・ 偽造書類や、虚偽の申告があるもの。その他、不正な手段で作成されたと認められる書類。

9 入学審査

ICA入学審査ポリシー: ICA国際会話学院入学選考委員会は、入学許可の選考にあたって、学生に関する以下の項目は参照しません。年齢、性別、人種、宗教、階級、出身地、ハンディキャップ。

応募者数が定員数を上回った場合、書類に不備がなくとも出願できない場合があります。審査期間は書類が提出されてから、一般には3週間程度ですが、1か月以上かかることもあります。また、提出された書類は、卒業証書や成績証明書などの原本を除き、原則返却しません。提出時に必ずコピーをとっておいてください。

<注意> 不当な機関で作成された書類、不正な書類の事実が発覚した場合、次の対処を行います。あらかじめご承知下さい。

- ・ 当該申請について無条件で却下とし、今後の再申請を一切認めません。
- ・ 当該申請の紹介者保証人が持参した他の書類も同様に、すべて却下とします。
- ・ その際、選考料は返却しません。

<注意> 申請書類作成を代行し、法外な料金を請求する業者が増えています。悪質な業者にご注意ください。

10 送迎サービス(有料)

日本到着時、成田空港へ学生を迎えに行き、日本での住居までお送りいたします。ご希望の方は、来日日程が決まった時点でお申し込みください。※要予約(必ず事前にお申し出ください)

料金 ¥9,000 (日本国内の交通費・宅送料込み)

11 お問い合わせ

この入学手続きについて分からない点や困っている点などありましたら、ICAにお気軽にお問い合わせください。また、ICAのホームページには、詳しい授業概要や書類のチェックリストがあります。ぜひ、ご覧下さい。

あなたの入学をお待ちしております。

ICA国際会話学院

171-0021 東京都豊島区西池袋 3-22-13

Tel: 81-3-3984-2476

Fax: 81-3-3986-0088

E-mail: ica@aikgroup.co.jp

Web: www.aikgroup.co.jp/ica

International Conversation Academy

3-22-13 Nishiikebukuro, Toshima-ku,

Tokyo 171-0021 JAPAN